

蒲生干潟の地形調査94 2024年3月

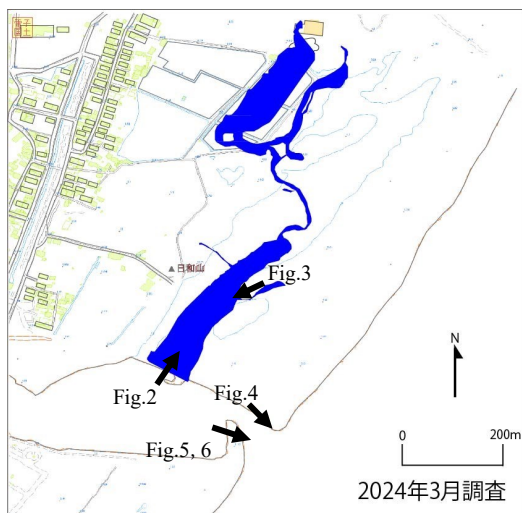


Fig.1 GPS 簡易測量結果



Fig.2 潟湖全体の様子（南側からドローン撮影）



Fig.3 潟湖中央部のカキ礁



Fig.4 七北田川河口左岸砂州



Fig.5 七北田川河口砂州①（ドローン撮影）



Fig.6 七北田川河口砂州②（ドローン撮影）

調査日 2024年3月28日（木）10:00～11:30 ※満潮時刻4:49（潮位135cm） 干潮時刻11:22（潮位15cm）

Fig.1は、GPS簡易測量による3月28日の汀線である。今回の調査でも、潟湖全体の水量は少なく、干上がっている箇所が多かった。潟湖中央部では、カキ礁が水面から出ている箇所も見られた（Fig.2□部, Fig.3）。潟湖最北部の潟湖は出現していた。七北田川河口付近では、右岸砂州が大きく張り出し、内陸側を向いた形となっていた（Fig.5, Fig.6）。さらに、2021年2月の調査以来、約2年ぶりに左岸砂州が見られた（Fig.4, Fig.5, Fig.6）。（門脇 駿）